Version4.0. y

取扱説明書

型番:THCARVR36R

保証期間:　1年間

※納品書･レシート等が保証書の代わりとなります。

●故障かな？と思ったら●

お問い合わせ・修理をご希望をされる場合
support@thanko.jp に空メールをお送りください。自動返信でご案内いたします。

※自動返信が来ない場合
送信前に「@thanko.jp」のメールが受信できるよう設定の上ご送付ください。

QR コードを読み取り、空メールを送信できます。

不具合品のご送付先

ご送付いただくだけでは対応ができない為、必ず空メールをお送りいただき、内容をご確認の上ご送付ください。

〒275-0024　千葉県習志野市茜浜(チバケン ナラシノシ アカネハマ) 2-3-1
EL 内 サンコーサポート宛
TEL 03-3526-4328
(月～金 10:00～12:00 13:00～18:00　土日祝日を除く)
お問合せメールアドレス :support@thanko.jp

● 仕様

本体カメラ部分

サイズ	幅 127× 高さ 90× 奥行 40(mm)、149g
電源	12V/24V 対応、シガーソケットより給電 バッテリー内蔵
付属品	本体、シガーケーブル (300cm)、 吸盤アタッチメント、日本語説明書
液晶サイズ	5 インチカラー LED
画角	360 度
記録メディア	microSD カード（～ 128GB Class10 推奨)
記録ファイル	動画：mp4 形式 1440×1440 24fps 静止画：JPG 形式　1440×1440
撮影時間	128GB の microSD カード使用約 18 時間 (※状況により異なります)
待機時間	パーキングモード待機時間 約 8 時間
画素数	300 万画素
コーデック	H.264
マイク・スピーカー	内蔵
G ショックセンサー	内蔵
赤外線 LED	なし
対応 OS	Windows 7/8/10

バックカメラ部分

サイズ	幅 22× 高さ 22× 奥行 22(mm)、93g
電源	ドライブレコーダー本体より給電
付属品	バックカメラ、固定シール、固定ネジ (2 本) 日本語説明書
解像度	640×480　24fps
ケーブル長	5.5m
防水性能	IP65

● セット内容

①本体 ②シガーケーブル (3m) ③吸盤アタッチメント

④バックカメラ本体 ⑤固定用シール ⑥固定ネジ（2 本）

ご注意：カメラ、モニターの保護シールを剥がしてからご利用ください。
車に取り付けをする前に、本体とバックカメラの動作確認をして下さい。

● 各部説明

● 取付方法

①吸盤についている保護フィルターを外します。
②本体裏側にある溝（アタッチメント接続部）に吸盤アタッチメントの凸を上にして差し込み、上にスライドさせて固定します。

③吸盤のレバーを下ろし、吸盤をフロントガラスにおしあてて、レバーを上げると固定されます。

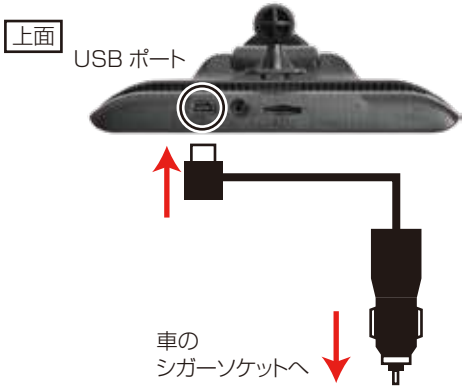
● バックカメラ取付方法

①バックカメラを付属のネジ、もしくはシールを使って固定します。
②ドライブレコーダー本体上部にある AV 入力ポートに端子を差し込みます。

③バックカメラの赤いケーブルはリバース信号のコネクタに接続して下さい。接続方法は各車のサービスマニュアル等をご確認下さい。（取り付けに関してはサポート外となります）
バックカメラの赤いケーブルはリバース信号のコネクタ（テールランプの + 線等）に接続する事により、車をバックギアに入れた時のみ LED4 灯が点灯し、リアカメラの映像を自動的に画面に表示し、バック時のアシスタントガイド線を表示させる事が出来ます。
ケーブルを接続しなくても後方の映像を表示しながらの走行や、本体画面右にある赤枠内（バックカメラ画）を一度タッチすることで後方の映像を表示させる事が出来ます。

● ケーブルの接続（共通）

車のエンジンをかける前に、カメラ本体のUSBポートに付属のシガーケーブルを差し込みます。シガーアダプタ側を車のシガーソケットに差し込みます。



● microSD カードのセット

カード印刷面がモニター側になるように、カード挿入口にセットします。カチッと音がするまで爪先で押し込んでください。

カードを抜く時は、カードを爪先で押し込むと、カードが出てきますので、掴んで抜いて下さい。

カードの着脱は必ず電源 OFF にして行ってください。

microSD カードは、Class10 を推奨します。
容量の少ない microSD カードを使用した場合、短時間の録画しかできません。またロックされたファイルが増える事でループ撮影ができず撮影が止まってしまう場合がございます。その場合、必要なファイルはパソコンに移動させ、カードを初期化（全消し）して下さい。

※ドライブレコーダーの記録用SDカードははとても過酷な条件で動いています。よって1～2か月に1回初期化、フォーマットが必要です。

● 初期設定（共通）

車のエンジンをかけると、本製品の電源が入り自動的に録画が開始されます（赤い●が点滅します）
※録画が始まらない場合は「トラブルシューティング」の項目をご確認ください。※最初にお使いになる時は、内蔵バッテリー充電のため、電源が入るのに時間がかかる場合があります。

本製品は電源ボタン以外は、全てタッチパネルの操作となります。

まず日付・時間の設定を行います。
①画面をタッチし、一番左側の をタッチして撮影を停止します。
②右から2つ目 をタッチします。
③左にある【システム】をタッチします。
④時間設定の横にある年月日をタッチします。
⑤数字をスライドして年月日を設定します。
⑥確定をタッチします。
⑦次に年月日の横の時間をタッチします。
⑧数字をスライドして時間を設定します。
⑨確定ボタンをタッチします。
以上で日時設定は完了です。

次にスクリーンセイバーの設定を変更します。スクリーンセイバーは、設定した時間後に画面を自動的に消すことができます（消えてる間も録画は継続されます）消灯中は画面にタッチすると画面が表示されます。画面を表示したままの設定も可能ですが、運転中のわき見運転に繋がる、内蔵バッテリーの無駄な消費、液晶の寿命を伸ばす為にも必要以外は消してのご利用をお勧めします。
①左にある【記録】をタッチします。
②画面を上方向にスワイプし、一番下にあるスクリーンセイバーの右横の【オフ】をタッチします。
③1 分・2 分・オフと設定があります。オフ以外の時間を選びます。オフにすると画面が常時表示になります。
④左上の をタッチして元の画面に戻ります。

● 録画を開始する（使用方法）

「初期設定」の内容を変更していただければ準備は終了です。車のエンジンを入れれば、自動的に本製品の電源がオンになり録画が開始されます。
車のエンジンを切れば、録画の停止・保存を行い、本製品の電源が自動的にオフになります。
本製品には色々な機能や、細かい設定が可能となっています。初期設定の内容だけで、ドライブレコーダとしてのご利用が可能ですが、必要な時は設定を変えてご利用ください。

● メインメニューについて（共通）

①動画撮影…動画撮影のオンオフ
②静止画撮影…静止画を1枚撮影します
③再生…撮影したデータを再生します
④設定…各種設定を行います
⑤モード変更…カメラモードの変更を行います

①動画撮影…動画撮影のオンオフ（アイコン内の数字はループ録画設定時間になります。画面は 2 分設定の場合になります。）
②静止画撮影…静止画を 1 枚撮影します
③ロック…現在録画中のデータを上書きしないようにロックをかけます。
④設定…カメラモードの変更を行います

● トラブルシューティング（共通）

Q：microSD カードをセットしなくても使用できますか？
A：設定も含め操作に問題ございますので、必ず microSD カードをセットしてからご利用ください。

Q：車のエンジンを入れても電源が入りません。電源が入ってもすぐ電源が落ちます。液晶モニターが正常に表示されません。
A：内蔵の充電池が完全に無くなっている可能性があります。電源が落ちたままの状態で結構ですので、30 分ほどシガーソケットに接続したままにして充電を行ってください。そのあとに電源を入れ直して正常に動作するかご確認ください。

Q：使用する度に、日付や時刻、設定した項目がリセット（ご購入時の状態）されます。
A：内蔵の充電池が完全に無くなると、設定した項目がリセットされます。再度設定を行ってご利用ください。（パーキングモードを使用時、録画回数が多いと内蔵の充電池が早く減ってしまう場合がございます。頻繁にリセットされてしまう場合は、設定を切ってご利用ください。

Q：カードエラーと表示されます。
A：microSD カードに問題が起きております。新しい microSD カードをご用意いただき、交換をしてご利用ください。（32GB 以上 class10 推奨）

Q：電源は入りますが、どのボタンを押しても反応せず、何も操作ができません。
A：誤動作により、何も操作できない状況になっている可能性がございます。先の尖ったクリップなどをご用意いただき、リセット穴に差し込んでください。電源が強制的に遮断されリセットされます（設定した項目は消えません）

● 設定詳細（共通）

◆記録
・ループ録画…1 ファイルの長さを設定します。1 分 /2 分 /5 分から選びます。
・G センサー…衝撃を感知すると録画データを自動でロックする G センサーの感度を設定します。
低（感度弱）中（感度中）高（感度強）
・周波数…50Hz(東日本）/60Hz（西日本）
・自動録画モード…電源がオンになると自動的に録画がスタートするようにするかどうかを設定します。オンにすることを推奨します。
・録音（音声記録）…録画と同時に音声を録音するかどうかを設定します。
・バックカメラ鏡像…オンにすると、バックカメラの映像は左右が逆（鏡像）に映ります。バックカメラを駐車時の確認に使う場合は、オンにして下さい。
・スクリーンセイバー…画面消灯のオンオフを設定します。1 分 /2 分 / オフから選択します。画面が消灯しても、録画は継続されます。
※電源ボタンを押す事で、画面表示のオンオフが可能です。
◆システム
・言語設定…メニューの表示言語設定
・輝度（明度）設定…モニター明度の設定
・音量（音声）設定…音量の調整
・時間設定…本体の日時を設定します
・リセット…Format（SD カードのフォーマット）リセット（本体設定を初期状態に戻します）
・バージョン…ファームウェアのバージョンです

● 再生について

再生ボタンをタッチすると、撮影したデータを見る事ができます。撮影データの一覧が表示されますので、再生したいデータをタッチしてください。

各ファイルを長押しすると、データを削除する事ができます。**※カギマークのついたロックファイルは消せません。**
再生中に ボタンを押すと、カメラモードを変更する事ができます。

● カメラモードについて（共通）

◆ワイドアングルモード
広角レンズモード。通常のドライブレコーダーに近い画面になります。
◆球面モード
カメラから真下 360 度を球面状態で撮影します。
◆フロント＆バックモード
カメラの正面と真下を撮影し、上下 2 画面で表示されます。
◆マルチウインドウモード
90 度ごとの画面を 4 画面で表示します。

球体モード、フロント＆バックモード、マルチウインドウモードでは画面をスライドさせて動かす事ができます。
またフロント＆バックモード、マルチウインドウモードでは、分割された画面をダブルクリックするとその画面が全画面表示されます。再度その画面をダブルクリックすると、分割画面に戻ります。

球面モード、フロント&バックモード、マルチウインドウモードを使用する場合、基本的にはカメラを真下にむけてください。（モニターを見ながら調整してください）

ワイドアングルモードで使用する場合、カメラの向きを右の写真のように前方に向けてください。モニター画面を見ながら角度は調整してください。

● バックカメラの映像表示について

この枠部分にバックカメラの映像が表示されます。

バックカメラ画面

バックカメラ映像をタッチすると、バックカメラの映像のみが拡大表示されます。もう一度タッチすると元の画面にもどります。

● パーキングモードについて

衝撃を感知すると自動的に録画を開始するパーキングモード（駐車監視モード）は、電源を切るときに設定します。
電源が切れると、画面に【電源オフ】【駐車監視】【取り消し】と 3 つのメニューが表示されます。
【駐車監視】を選択します。
画面の表示が消え、パーキングモードが開始されます。

【駐車監視】…衝撃を感知した場合、メインカメラとバックカメラ両方で録画します。19 秒間撮影

※駐車監視モード切替から約 1 分 30 秒以内は、衝撃を感知しても録画されません。（待機モード）

パーキングモード時の撮影は画面が表示されません。（短く音が鳴ります）
撮影されたデータは自動的にロックされます。
衝撃感知の感度は G センサーと同じです。

● 撮影したデータをパソコンで見る（共通）

◆パソコンにカードを読み込む
撮影したデータをパソコンで見るには、microSD カードを本体から抜き、カードリーダー（別売）などでパソコンに読み込ませます。
○Windows7 以下の場合
スタートボタン→コンピューターをクリックします。
○Windows8 の場合
アプリ一覧→PC をクリックします。
「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。
○Windows10 の場合
スタートメニュー→エクスプローラー→デバイスとドライブでドライブをダブルクリックします。

リムーバブルディスク内【video】に撮影したデータが保存されています。
・thumbnail…サムネイル画像保存フォルダ
・A…本体カメラ動画保存フォルダ
・B…バックカメラ動画保存フォルダ
・pic…静止画保存フォルダ
・sos…ロックされたデータの保存フォルダ

● 撮影したデータをパソコンで見る（共通）

◆ソフトのインストール
撮影されたデータを正しくみるためには、ソフトが必要になります。ドライブレコーダーで撮影をすると、mircroSD カード内に、自動的に再生用のソフトが保存されます。
①リムーバブルディスクに保存されている【VeSee_setup.exe】をダブルクリックします。
②「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示されたら「はい」を選びます。
③インストール画面が表示されます。「NEXT」をクリックします。
④ソフトのインストール先を聞かれますので、画面に表示されている場所以外にインストールする場合は、「change」をクリックして、保存先を選択し「NEXT」をクリックします。
⑤「NEXT」→「NEXT」をクリックするとインストールが始まります。
⑥「finish」をクリックするとインストールは終了します。デスクトップに【VeSeeGo】のショートカットアイコンができています。

以上でソフトのインストールは終了です。

◆アップデートの確認
画面左上の「VeeSeeGo V○○」（←○にはバージョン名が入ります）をクリックすると最新版のアップデートを確認します。最新版がある場合は VeeSeeGo が自動的にアップデートされます。

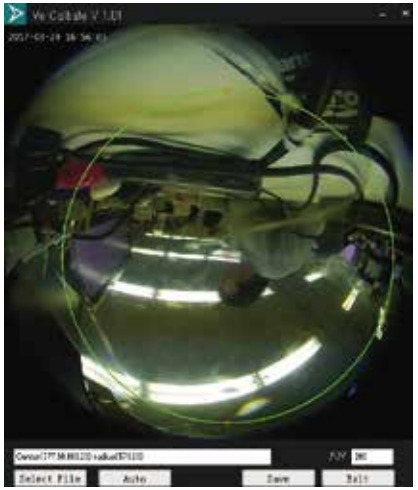
※起動した際に、ウイルスセキュリティソフト（ウイルスバスター等）が警告を出す場合があります。使用を許可した上でご利用下さい。

再生ソフトは随時アップデートしております。最新マニュアルを WEB にアップロードしておりますのでそちらもご確認ください。
最新マニュアル
https://www.thanko.jp/support/download.html

● VeSeeGo の使い方

基本的な使い方
①再生リストの下にある＋をクリックして、動画をリストに加えていきます。
②リストから動画を選択後、ファイル名をダブルクリックすると再生します。
③撮影データは球面モードになっています。画面下の「2 画面」「4 画面」「ワイド」をクリックすると画面が変わります。
カメラの向きをクリックすると、下、上、正面など、カメラの方向が変わります。
表示されている映像の画面上でマウスをドラッグして、画面を動かす事も可能です。

● VeSee の使い方続き（共通）



画角の変更について
表示調整（画面の調整）のアイコンをクリックし、「Select File」をクリックして読み込みたいデータを開きます。緑色の円の線上や中央に、小さい赤色の□がありますので□をドロップで動かしたりサイズを変更して、読み込みたい範囲を設定します。
「Save」を押すとその状態が保存され、以降設定した範囲のみ再生されるようになります。

画質出力について
画質（サイズ）変更のアイコンをクリックし「ファイル追加」をクリックしてデータを読み込みます。データを読み込みます。カメラ方向やモードを変更し、出力したい画面を選択します。また画面を直接ドラッグして方向を決める事も可能です。画面が決定したら出力先を「保存先選択」で決め、出力サイズを選択し、最後に「スタート」を押すと出力作業が始まります。

● 出力した動画が再生できない場合（共通）

出力した動画がご使用のパソコンでうまく再生されない場合は以下の動画再生ソフトをお試しください。

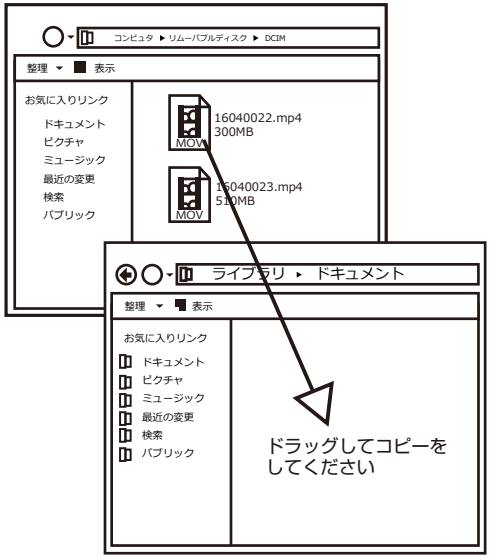
弊社では Codec のインストール不要な、GOM Player での再生を推奨しております。
正常に再生されない場合は「GOM Player」（無料）を
インストールして動画の再生をご確認ください。

http://www.gomplayer.jp/player/

※GOM Player の使用方法などは弊社のサポート外となります。再生方法など詳しい使用方法ご案内しておりませんので、検索などをしてご確認ください。

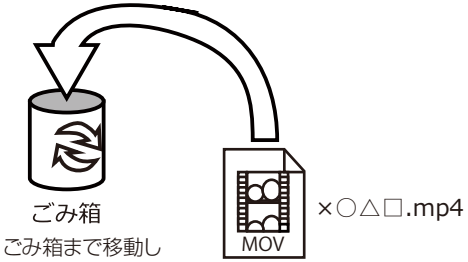
● 撮影したデータをコピーする（共通）

撮影したデータをパソコンにコピーする場合は、下記の様に保存したい場所へ（この例ではドキュメントフォルダ）ドラッグしてコピーをしてください。



パソコンに接続中はボタン操作は行わないで下さい。

● 撮影したデータを削除する（共通）



データをごみ箱に入れた場合は、即削除されますのでご注意ください。

撮影したデータを再生中の場合は、削除をする事ができません。再生を停止した後、ごみ箱に入れてください。

■フォーマット方法（microSD の初期化）
「マイコンピューター」から、本製品の「リムーバルディスク」を右クリックしていただき、表示されたメニューからフォーマットを選びフォーマット、またはクイックフォーマットを行ってください。

※必要なデータは事前にハードディスクなどへ保存後、フォーマットを行ってください。

● 本体をパソコンから取り外す（共通）

本製品をパソコンから取り外す際は、必ずタスクバーに表示されている（画面右下の時間表示の左側に表示されます）「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンをクリックしてください。

メニューの指示に従い、ドライブを選択して取り出しの文字をクリックするか、「USB Mass storage Device」の取り出しの文字をクリックしてください。

しばらくすると、安全に取り外しができるメッセージが表示されます。その後に、パソコンから本製品を取り外してください。

ファイルの書き込み中等に、本製品をいきなりパソコンから取り外すと、本商品の破損やファイルの破損に繋がりますので、ご注意ください。

⚠ ご注意 ⚠

操作を行う場合は、車を停止後に行ってください。
車に取り付けをする前に、本体とバックカメラの動作確認をして下さい。

・microSD カードは付属いたしません。
※ドライブレコーダーの記録用SDカードははとても過酷な条件で動いています。よって1～2か月に1回初期化、フォーマットが必要です。
・カードエラーが表示された場合は、microSDカードに問題が起きております。
　別の microSD カードをご用意いただき、交換をしてご利用ください
（microSD カードは消耗品となります）
・使用の際は、必ず正常に動作しているかご確認の上ご利用をお願い致します。
・シガーソケットから給電をしながらのご利用をお願い致します。
　USB での動作、シガーケーブルを改造してのご利用はサポート外となります。
・バックカメラのみ防水仕様となっております。本体モニター等は防水ではありません。水で濡らさないようにしてください。
・本製品をご利用において生じるデータの破損は補償の対象外となります。
・本製品は日本販売向けの商品となります。
　海外でのご利用はサポート外となりますのでご了承ください。